

公共用水域水質測定の概要

1 測定機関

- 国土交通省・・・最上川本川など、国が管理する区域での測定
- 県・・・・・・・・最上川の支川や2級河川など、県が管理する区域での測定
- 山形市・・・・・・・・山形市内での測定（水質汚濁防止法の政令市）

2 測定水域

- 河川
 - ・最上川、赤川など、本県を代表する河川
 - ・市街地を流下する河川など、汚濁が比較的多いと思われる河川
 - ・鉱山廃水が流入する河川など、有害物質が検出される恐れのある河川
- 湖沼
 - ・水道水源になっているダム貯水池が主な対象
- 海域
 - ・沿岸域のほか、酒田港内を対象
(酒田港は、県内で唯一、生活環境項目の環境基準を超過している水域)

3 河川の測定地点

- ・最上川、赤川の本川は、全体を把握できるよう、主要な支川の流入後などの複数の地点で測定
- ・最上川、赤川の支川や2級河川では、全体を把握する地点、または、最上川への影響を把握できる地点として、最下流の地点（最上川への合流点など）で測定
- ・そのほか、利水状況などを考慮して、一部の河川では上流の地点でも測定

4 測定項目

- ・水質測定計画に記載の物質の中から、各水域の利用目的等に応じて選定
- ・最上川、赤川の本川などでは、実態を把握するため、全項目（健康項目）を測定
- ・そのほかの河川（支川や2級河川）では、流域の実態に合わせて測定項目を選定
(市街地を流下する河川などではBODなどの生活環境項目を、有害物質を使用する工場等からの排水が流入する河川は当該有害物質を測定)